

神之池周辺の魅力づくり（樹木調査業務）

1 経緯

神之池緑地は平成19年度から21年度にかけ、「公園再生事業」として、武道館東側にグランドゴルフ等多目的にご利用いただける芝生広場や、広々とした遊具広場等を整備し、日々多くの市民に利用いただいています。また毎年春には桜まつりが開催されるなど、自然豊かな公園として親しまれていますが、潮風の影響を強く受ける立地にあり、開園から45年以上が経過する中、樹木の老朽化がすすんでいます。



長年潮風にさらされ続けた園内の樹木は、状態の悪いものが目につくようになっていきます。

市民の憩いの場である公園において、適切に管理された樹木は公園の魅力に直結するものです。しかしながら、これまで神之池緑地における樹木の管理は、倒木や枯損が発生し

てから、その都度対応するような受け身のものでした。これは園内に一万本以上ある樹木の安全と魅力を保つためのもとなる情報が整備されていないためです。

また、神之池緑地のように、樹木の面的な改善が必要な状況では、あらかじめ計画を立て、それに基づき伐採や植え替えを行うなど、適切な管理をしていく必要があります。この調査業務は、そうした計画的な管理と、樹木を活用した魅力向上のための情報収集として、園内の樹木の状態を把握するために行うものです。

2 整備内容と今後の方針

■ 樹木の状況を調査し、調査結果と現況写真をとりとまとめ、公園管理のために使用しているデジタルマップにデータを投入し、樹木の位置や樹種、状態などを直感的に把握できるようにして、日常的な管理や今後の計画に活用できるようにします。



©神栖市

■ 観光資源である桜をはじめ、状態の悪い樹木に関しては、調査結果をもとに、専門家の指導を仰ぎ、伐採、間引き、植え替え、また四季を通じて楽しめる樹木の植樹などを順次実施していきます。

■ 4年間の調査業務が完了したのち、人と緑が調和する魅力的な公園を目指し、樹木リノベーション計画を策定する方針です。



調査結果をもとに、状態の悪い樹木を把握することができ、倒木等を未然に防止できます。

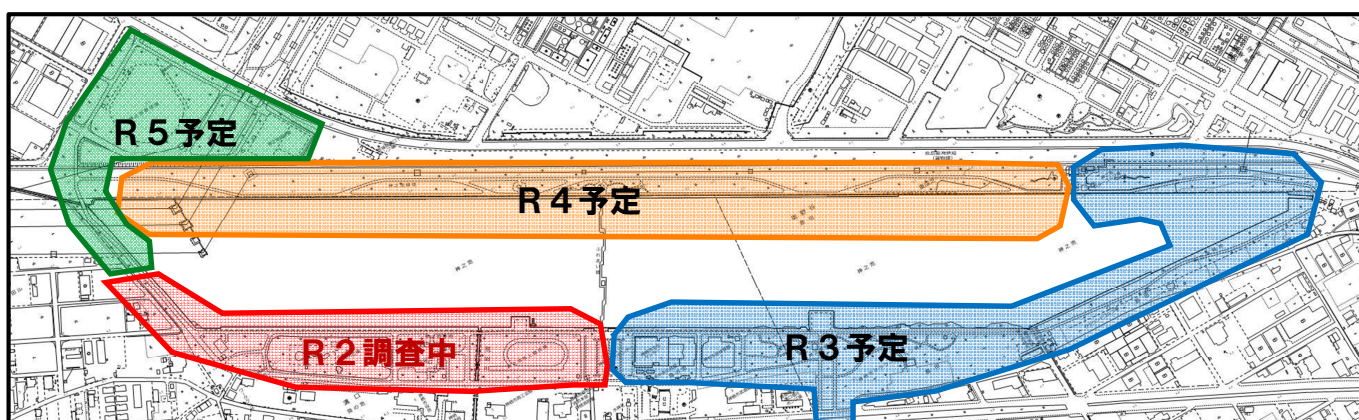


この地域は潮風の影響でソメイヨシノの生育に適していないと専門家により指摘されています。状態の悪いソメイヨシノを潮風に耐えられる品種へ植え替えるなど、地域にマッチするリノベーションを検討していく必要があります。令和元年度には、市役所分庁舎裏側の傷んだソメイヨシノを一部伐根し、潮風に強いとされる「オオシマザクラ」や「ヤエベニオシマ」に植え替えました。

3 スケジュールと調査予定箇所

園内全体の調査をR2年度からR5年度まで、4年間を予定。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入札・契約		→										
樹木調査				→								
とりまとめ・データ投入					→							



4 概算費用

R2年度からR5年までの4年間の総額

とりまとめ・データ投入	8,000千円
現場調査費用	55,000千円
計	63,000千円